

日時：令和4年2月4日 7:00～8:00

会場：各施設（Web Meeting；Zoom 使用）

参加者（25名）； 今釜史郎委員長 安藤圭 岩崎博 後迫宏紀 川端茂徳 寒竹司 小林和克 重松英樹 高橋雅人 田所伸朗 谷口慎一郎 橋本淳 藤原靖 船場真裕 町野正明 森戸伸治 安田明正 山田圭 山本直也 吉田剛 和田簡一郎 各委員（敬称略）

黒須健太 各オブザーバー（敬称略）

安藤宗治 高谷恒範 松山幸弘 各アドバイザー（敬称略）

■議題1：モニタリング認定医について

- ・脊椎脊髄病研修コース IV・試験後、昨年同様脊髄モニタリング認定医の申請期間を6月に設定予定。
- ・昨年同様、7月にWG委員2名1組のペアとなり申請書類の審査を行う予定。
- ・申請者が提出書類の内容を理解しやすいように、モニタリング波形所見レポート見本の見直しを行う。
- ・腰椎手術症例の波形所見レポートでは、上肢のコントロール波形が分かるものを提出頂くこととする。
- ・モニタリング波形所見レポートのコメント欄で、True Negative(真陰性)、True Positive(真陽性)、False Positive(偽陽性)、False Negative(偽陰性)の適正な判定を行って頂く。
- ・波形提出不可の機種の場合は、Amplitude の変化を示せるデータ提出（10例）と、モニタリングに関する論文1篇以上（自著・共著いずれでも可能、過去10年以内のもの）を提出頂くこととする。
- ・2022年秋の各施設での脊髄モニタリング・ハンズオンセミナーはコロナ禍の状況を鑑み検討する。

■議題2：脊椎脊髄病研修コースについて

- ・浜松医大（吉田）

2022年4月23日（土）パシフィコ横浜会議センター3階にて第20回脊椎脊髄病研修コース第IVコース（モニタリング脊椎脊髄病研修コース、定員100名）を開催する。講義1.脊髄モニタリング総論を川端先生、講義2.運動系・感覚系モニタリング各論を高橋先生、講義3.脊椎脊髄手術モニタリングのアラームポイントと合併症対策を吉田先生が担当する。試験は昨年同様1時間であり、監督は安田先生と町野先生が担当する。30題のテスト内容の選定を行い事務局へ送付する。

■議題3：研究進捗

下記研究進捗があった。

- ・杏林大（高橋）

脊髄モニタリング False negative の検討 多機関共同研究 5,272例の解析→学会発表予定

- ・奈良医大（重松）

MEP+D-wave 併用の有用性→GSJ revise 中、JSSR 学会発表予定

脊髄モニタリングに関するアンケート調査（対象 JSSR 評議員）→論文作成中、学会発表予定

チェックリストとフローチャートを用いた波形低下要因の検討 多施設共同研究→今後解析予定

- ・山口大（船場）

頰椎手術の MEP アラーム精度に影響を及ぼす因子→投稿準備中

- ・浜松医大（吉田）

成人脊柱変形手術に対する術中脊髄モニタリング→論文作成中

術後麻痺が脊髄障害によるものか神経根障害によるものかを検討→学会発表予定

- ・浜松医大（後迫）

脊椎外傷手術患者に対する経頭蓋電気刺激筋誘発電位の有用性 多施設前向き研究→論文作成中

- ・名古屋大（町野）

胸椎後縦靭帯骨化症における術中モニタリング波形悪化・偽陽性例の特徴→学会発表予定

■その他：

- ・関西医大（谷口）名古屋大（町野）

第43回日本脊髄機能診断学会学術集会(会長 今釜先生)

2022年2月5日（土）枚方市総合文化芸術センターにてWeb開催

- ・次回開催予定日：2022年4月22日（金）朝 現地開催予定（認定医申請、研究進捗、症例検討など）